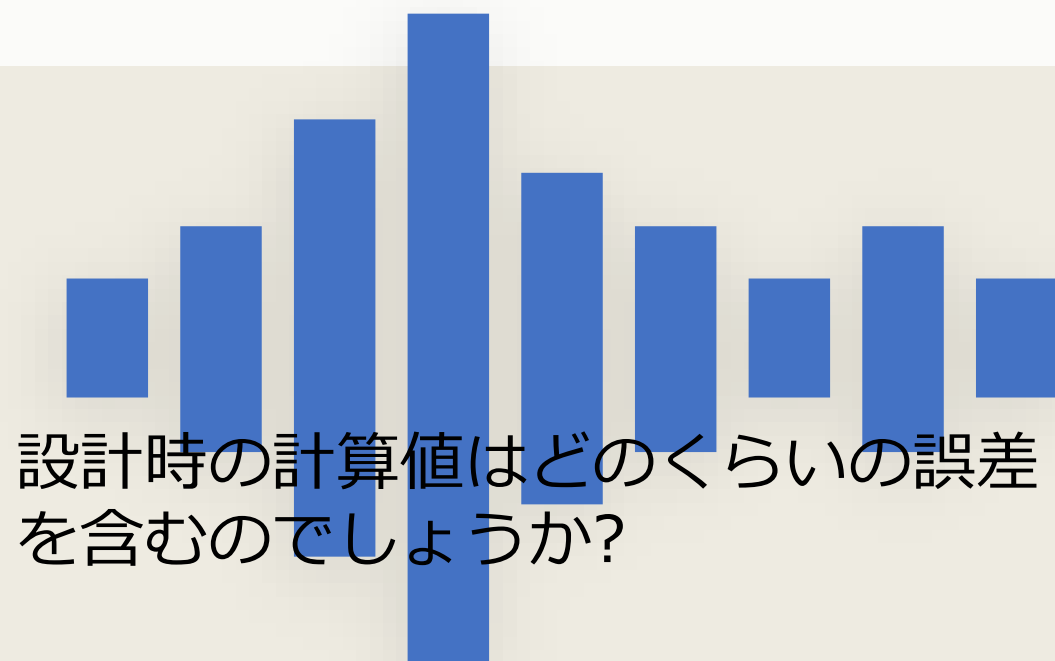


構造物の固有振動数設計値 の誤差について

～設計値と実測値のデータ比較～

構造物の振動対策を検討する時に
最も重要なパラメータとなる固有振動数…



今回の資料は、床、片持ち床、階段の3つの構造物について、設計時に計算によって求められた固有振動数と竣工後の実測値を比較し、設計値の誤差がどの程度だったのかを分析したものです。

※ 誤差は、下式の相対誤差 (E_r) を求め、設計値が実測値とどのくらい誤差があったのかを評価しました。

$$E_r = \frac{(\text{実測値の固有振動数}) - (\text{設計時の固有振動数})}{(\text{設計時の固有振動数})}$$

**続きが気になる方は
会員登録(無料)をお願いいたします。**

資料はヤクモ会員登録後(無料)に
マイページよりダウンロードいただけます。
この他にも様々な資料がございますので、
ぜひこの機会にご登録下さい！

会員登録はこちら



HP : <https://www.yacmo.co.jp/>

✉ yacmo-ma@yacmo.co.jp

